

袋井 RPF 工場

「プラスチックの処理ならお任せ」

今回は、皆さまの身近な【プラスチックのリサイクル】について。

プラスチックリサイクルにおいては多くの技術的及び経済的な課題が存在します。日本はリサイクルに関して世界的にも進んでいる国の一つです。分別回収やリサイクルの法制度など国をあげての取り組みが行われています。しかし、プラスチックリサイクルにおいては依然として様々な課題があります。リサイクル率の向上や、リサイクルプロセスの効率化、コスト削減などが重要な課題です。リサイクルされたプラスチックは原料と比較して品質が劣ることが多く、これが新しい製品の転用を制限しています。プラスチック廃棄物に含まれる汚れやラベル、接着剤などがリサイクルにおいて大きな障害となっており、これらを除去するための追加処理がコストの増加に繋がっています。リサイクルプロセスの改善や新たな技術の開発が、これらの課題を解決する鍵となるでしょう。プラスチックリサイクルには「マテリアルリサイクル」「ケミカルリサイクル」「サーマルリサイクル」の三つが主要なリサイクル方法となります。

「サーマルリサイクル」では燃焼により発生する熱をエネルギーとして活用することが可能です。リサイクルクリーンでは袋井・桜台・大川の3拠点でRPFを製造しております。総合エネルギー効率の向上と化石燃料の削減によりCO2削減等の地球温暖化防止に寄与しています。

プラスチックの処理にお困りの方やRPFに興味がある方は是非一度お問い合わせください。

